

事務事業名	農道保全対策事業(木次地区、飯石・斐伊地区農道負担金)	所属部	産業振興部	所属課	農林土木課
政策名	(V)挑戦し活力を産みだすまち<産業>	所属G	農林道G	課長名	渡部克彦
施策名	(36)農業の振興	担当者名	小田川博志	電話番号	0854-40-1053
目的:対象	市内の農家	意図	安全・安心な農畜産物を生産するとともに、農業所得が向上する。	(内線)	3711
基本事業名	(108)農業基盤の保全	予算科目	会計 款 大事業 大事業名 0 1 3 0 0 6 項 目 中事業 中事業名 0 5 6 5 3 7	県営農道整備事業 農道保全対策事業負担金	
目的:対象	担い手農家・担い手以外農家	意図	農業の生産性を維持・向上できるようにする。		

1 現状把握【DO】

(1)事業概要

① 事業期間
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 ( 年度～ )
<input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 23 年度～ 28 年度 )
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)
事業主体は島根県
①木次地区(塔の村橋点検診断、歩道概略設計、路面診断)
②飯石・斐伊地区(山方大橋点検診断、路面及び法面診断)
負担率
木次地区:22.5%
飯石・斐伊地区:13～25%

(2)事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動	26年度実績(26年度に行った主な活動) 負担金支出書類の作成及び測試箇所の確認・立会		27年度計画(27年度に計画する主な活動) 負担金支出書類の作成及び測試箇所の確認・立会		
	② 活動指標	単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(計画)
	ア 負担金	千円	14,484	16,325	22,385	45,900
	イ					
	ウ					
	エ					

(3)事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標	単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(計画)
	農業従事者	ア 受益面積	ha	1,583	1,583	1,583	1,583
	イ						
	ウ						
	② 意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標	単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(計画)
	農道点検及び機能診断を行うことにより、農作物や資材・耕作機械の運搬作業などの労力が軽減され、農業の生産性が向上する。	ア 橋梁点検	橋	0	8	0	0
		イ 橋梁設計	橋	0	9	0	0
		ウ 橋梁耐震化	橋	0	0	2	2

(4)事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (26年度決算)	② コストの推移	単位	24年度(決算)	25年度(決算)	26年度(決算)	27年度(計画)
事業負担金の支出	財源内訳	千円				
木次地区負担金 5,600千円	国庫支出金	千円				
飯石・斐伊地区負担金 16,785千円	県支出金	千円	14,400	16,300	22,385	45,900
	地方債	千円				
	その他	千円				
	一般財源	千円	84	25	0	0
	事業費計(A)	千円	14,484	16,325	22,385	45,900
	人件費	人	6	3	3	
	正規職員従事人数	時間	500	240	240	
	延べ業務時間	千円	1,959	934	933	
	人件費計(B)	千円	16,443	17,259	23,318	
	トータルコスト(A)+(B)	千円				

(5)事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
なし	なし	なし

事務事業名	農道保全対策事業(木次地区、飯石・斐伊地区農道負担金)	所属部	産業振興部	所属課	農林土木課
-------	-----------------------------	-----	-------	-----	-------

## 2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？		見直し余地があるとする理由	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている * 余地がある場合⇒		
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して達成する目的か？			
B 有効性	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？意図を限定・拡充する必要はないか？			
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である * 余地がある場合⇒		
	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方はないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？			
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	理由	全路線が良好な路面で、また法面保護などが十分であれば、災害対策また事故防止につながり、農作物の運搬などが更に向上する。	
	<input type="checkbox"/> 向上余地がない			
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？		理由	災害、事故防止には人命にもかかわるため必要不可欠な事業である。また、補助事業でなければ単独費となる。
<input type="checkbox"/> 影響無	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有			
D 公平性	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？		理由	
	<input type="checkbox"/> 他に手段がある * ある場合⇒	(具体的な手段や類似事業名)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない	県営事業であり、市の負担が低いため有利である。		
A 目的 妥当性	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)		理由	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	理由		修繕にしても、オーバーレイなど安価な工法はあるが、耐用年数が短く再度修繕が必要になるため、十分に調査し、舗装基準に適した工法を精査する。
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない			
B 有効性	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？		理由	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	理由		県営事業のため、もともと業務時間は少ないので削減余地は無い。
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない			
C 効率性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？		理由	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	理由		農道の現地調査を行った上で、県営事業により実施されているため、公平である。
	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である			
評価 の 総 括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由)	
	A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		
		B 有効性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	
		C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
		D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
		通行者の安全性、農作物等の運搬作業軽減のため、継続的事业の実施が必要とされている。県営事業であるため、農道整備が完了するまで継続的に整備要望が必要である。		

## 3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		② 改革・改善による期待成果																								
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)		<table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>				コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
		コスト																								
		削減	維持	増加																						
成果	向上																									
	維持		●	×																						
	低下		×	×																						
県と連携し、引き続き円滑な事業推進に努める。		<p>廃止・休止の場合は記入不要。          コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>																								